



学校教育目標「ハート」「パワー」「チャレンジ」～わたしらしくあなたらしく～

H・P・C 通信



成和小 HP

令和7年6月2日

第3号

校長 藤田郁夫

個に応じた支援に向けて～特別支援教育の推進と充実～

前号でもお伝えした通り、本年度の学校運営の重点として「特別支援教育の推進と校内支援体制の充実」を挙げています。成和小では、一人一人の子どもたちの実態やニーズに合った教育を目指しながら特別支援教育の校内組織や推進体制を整えるとともに、児童や保護者様、地域の皆様への理解を深めていきたいと考えています。5月29日（木）の全校集会では、校長から合理的配慮について、オレンジ学級（特別支援学級）担任から、オレンジ学級についてのお話をしました。



皆さんは、顔や性格、一緒にいる家族やこれまで育った環境など、一人一人が違った存在です。上手にできることや、うまくできずに困っていることも、一人一人違います。例えば、身長の違いが壁の向こうの野球を同じように観戦するために、背が低くて見えない人だけが踏み台を使うことは、「ズルい」ことではありませんよね。これと同じように、学校でも、一人一人の「困り感」に合ったサポートをすることがあります。



○みんなと違う勉強をしたり人より長い時間で問題を解いたりする

○支援の先生が横につく

○タブレットやリモートでの授業を受ける

○違う部屋で学習をする など

皆さんの中には、「あの人ばかり・・・」という気持ちを持つ人がいるかもしれません。でも、これは決して「ズルい」ことではなく、一人一人の「困り感」に合わせた、必要なサポートなのです。このことを、みんなで理解し、一人一人が安心して「わたしらしくあなたらしく」過ごせる学校を目指していきましょう。



合理的配慮とは

合理的配慮とは、「障害のある子供が、他の子供と平等に教育を受けるために、学校側が必要かつ適当な変更・調整をおこなうこと」で、個々の障壁に応じて、学校が個別に対応をするというものです。「障害者差別解消法」では、公立学校での合理的配慮の提供は法的義務になっています。また、保護者自身が、お子様の特性を理解し、お子様に合ったサポートが何かを知っておくことがポイントとなります。一方で、特性を知らない方からすると「わがまま」に見えることでも、実は特性に原因があるということもあるため、互いに理解を深める必要があります。

学校も、限られた体制面や財政面を鑑みつつ、保護者との相互理解を深めながら、「できること・できないこと」をすり合わせ、対応していくことが必要だと考えています。

学校教育目標「ハート」「パワー」「チャレンジ」～わたしらしくあなたらしく～

成和小の伝統と歴史（鼓笛と校歌）



輝くみんなが主人公 ～運動会を終えて～

5月26日（月）雨上がりの涼しい気候の中、1日延期となった運動会が開催されました。どの競技も、力強い走りや美しい（かわいい）表現で、一人一人、学年、成和小のよさを発揮した、「わたしらしさ、あなたらしさ、成和小らしさ」あふれるものでした。中でも、応援合戦や伝統の鼓笛では、児童の心を一つにしたパフォーマンスや演奏を通して、大きな感動を与えてくれました。運動会の様子は、学校ホームページにもUPしていますので、ぜひご覧ください。

今回は、成和小に鼓笛が誕生した35年前（開校当初）から指導にあたっておられる勝野耕治先生からお聞きした、鼓笛と校歌にまつわる貴重なお話を紹介したいと思います。



鼓笛と校歌のおはなし

成和小開校当時、とてもきれいな校舎ができました。しかし、子供たちの机や椅子、備品などは他の学校からいらなくなったものの寄せ集めで使いにくいものでした。運動場にも遊具はありませんでした。そこで、当時の職員とPTAの方々と古タイヤや土や重機を持ち寄り、手作りの遊具を作りました。また、前身の長松小、外町小にあった鼓笛は、楽器が無いからできません。六年生はともシヨックを受けたそうです。当時の教頭先生が地域の方々に相談したところ「子供たちのために」と、楽器を買うためのお金を寄付していただきました。おかげでピカピカの楽器が揃い、一年目の運動会から鼓笛をすることができたのです。こうして引継がれた伝統の鼓笛は、今年で三十五代目になりました。

また、成和小には当時校歌が無く、代わりに「みかんの花咲く丘」を歌っていました。新しい校歌を作る予算も無く、教頭先生と旧知の仲だった勝野先生に「何とかならないか」と依頼がありました。当時の職員から「歌いやすく子供らしい校歌にしてほしい」という願いを聞いた勝野先生は、全校児童から成和小にぴったりの言葉を集め、それを組み合わせた歌詞を作られたそうです。中には「玄界灘」「鏡山」「虹の松原」などの歌詞が欲しいという意見もありましたが、代わりに「潮風かおる」「緑の丘」「松のかおりがさわやかに」の歌詞が入れました。また、「けんかをしたらって仲直り」の言葉は、その素敵な思いを「二人が二人に集まって」の歌詞に置き換えたそうです。そして、開校から約一年後の平成四年二月に、成和小の校歌が誕生しました。

Web サイト:

<https://www.education.saga.jp/hp/seiwa-e/>

連絡先:

0955-75-0174

メール アドレス:

seiwa-e@education.saga.jp